

平成 30 年度真和志高等学校 国語「古典A」 シラバス

講座名	古典A	学年	第3学年
単位数	2単位	留意点	卒業後の進路として文系学部への進学を考えている場合は, 選択することが望ましい。
選択・必修	選択履修		
教科書	特になし		
副教材等	○国語便覧・古語辞典・漢和辞典		

◎科目の目標

<p>古典としての古文と漢文, 古典に関連する文章を読むことによって, わが国の伝統と文化に対する理解を深め, 生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。</p>
--

◎授業計画

	月	単元・教材名	学習内容	配当時間
前期	4	一 国語総合（古典編）の復習	○古文の歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを再認識する。 ○漢文入門として、熟語の構成を理解する。	6
	5	二 古文 伊曾保物語	○ 古文で表された「昔話」を学習することによって、古文に対する苦手意識を取り去る。 ○自分の知っている内容の物語を古文で味わう。	8
	6	三 古文 古今著聞集	○古文の短編を味わうことで、自分で現代語訳する力を身につけていく。登場人物の行動とその背景にある心情を読み取り、当時の人間の生き方について考える。	8
	7	四 漢文 列子	○中国の思想家がまとめた寓話を題材として、故事成語として現代まで伝えられている寓話の意味するところを学ぶ。	6
	9	五 漢文 論語	○日本国内で最も知られているとあって良い孔子と弟子たちの言行録である『論語』を声に出したり文字に起こしたりすることで、漢文の調子を学び、内容を理解する。 ○短い文章に込められた、思想を理解する。 ○自分の好きな文章を暗記する。	8

後 期	10	六 古文 枕草子 方丈記	○『枕草子』を読み、作者清少納言が描いた宮廷社会の伝統と文化について読み味わい、理解を深める。 ○『方丈記』を読み、人間・社会・自然などについて、現代日本の状況と関連させながら考察することで、人間の生き方や無常観に関する理解を深める。	6
	11	七 古文 伊勢物語 大和物語	○『伊勢物語』を読み、和歌を味わうとともに、物語の中での和歌のもつ役割について考える。 ○『大和物語』を読んで、さまざまな歌物語を味わう。	8
	12	八 古文 竹取物語 源氏物語	○『竹取物語』を読み、描かれたエピソードや、登場人物のさまざまな人間像を読み取り、ものの見方・感じ方・考え方について理解を深める。 ○『源氏物語』を読み、主人公光源氏の人生を、最愛の伴侶紫の上との関わりの面から読み味わうとともに、日本文学の最高傑作とも評される『源氏物語』の作品世界にふれ、古典に親しむ態度を養う。	6
	1	九 漢文 十八史略	○比較的短い四つの逸話作品の読解を通して、漢文への興味・関心を深める。	6
	2	十 漢文 三国志	○『三国志』の英雄にまつわる話を読み、登場人物の人物像や性格を読み取るとともに、その英雄たちが織りなす世界のおもしろさにふれる。	6
			十一 漢文 漢詩	○漢詩の規則を理解する。 ○有名な漢詩の表現を声に出して味わう。

◎評価の方法

- ・授業では、小テストを実施する予定である。
- ・小テストは、重要語句・語法に関するものを毎時間実施し、小テストの得点は定期考査の結果に加算する。
- ・評価は、定期考査や小テスト（知識・理解）を中心に、出席状況や授業への取り組み状況（関心・意欲・態度）、発言や提言（思考・判断）などを総合的に判断して行う。
- ・定期考査は、前・後期とも中間考査と期末考査をそれぞれ百点満点で行う。
- ・グループ学習による発表学習については、担当教員の評価の他、生徒相互による評価も行い、担当教員が実際の評価を決める際の資料として活用する。
- ・各学習のまとめ段階では、自己評価や相互評価も活用する予定である。
- ・なお、年間授業時間数の1/3以上を欠席すると、単位を認定しないので注意すること。